作成日：２００８年０４月０１日
改訂日：２０１１年０１月０１日

製品安全データシート（ＭＳＤＳ）

１.製品及び会社情報

製 品 名　：**ベーシックコート**
会社名　：ディバーシー株式会社
住　　所　：神奈川県横浜市中区山下町２２番地　山下町ＳＳＫビル／〒２３１－００２３
担当部門　：カスタマーテクニカルセンター
　電話番号：０４５－６４０－２２２２／ＦＡＸ番号：０４５－６４０－２２１６
　緊急連絡先　：お客様ご相談窓口／電話番号：０４５－６４０－２２８０
製品説明　：水性ポリマータイプフロアーシーラー
　主な用途；屋内化学床用
整理番号　：１２９８７

２．危険有害性の要約

本製品の危険有害性の要約

重要危険有害性

人の健康に対する有害な影響

- 吸い込んだ場合の刺激は弱い。
- 皮膚に対して弱い刺激がある。
- 目に対して弱い刺激がある。
- 飲み込んだ場合の有害性は低い。

環境への影響

- 大量の場合は、水生生物に対して影響を及ぼす。

物理的及び化学的危険性

- 不燃性であり、引火・発火性などの危険性はない。

国内法及び認証規格の要約

- 労働安全衛生法／通知対象物質　第６１号　エタノール　０．１～５％
- 環境ホルモン疑義物質
  環境省「内分泌攪乱作用を有すると疑われる化学物質（６５物質）」を使用していない。
- ＪＦＰＡ　Ｆ☆☆☆☆認定製品。（認定番号０３－７９Ｆ）

本製品のＧＨＳ分類

急性毒性(経口)　区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル	特になし
注意喚起語	特になし
危険有害性情報	特になし
注意書き	特になし

労働安全衛生法通知対象物質の有害性の要約

労働安全衛生法　通知対象物質　第６１　エタノール

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分２
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	区分外
	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	区分外
健康に対する有害性	急性毒性（経口）	区分外
	急性毒性（経皮）	分類できない
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	区分外
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外
	急性毒性（吸入：ミスト）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分外
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分２Ａ－２Ｂ
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	区分１Ｂ
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分１Ａ
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分３（気道刺激性、麻酔性）
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分１（肝臓）、区分２（神経）
	吸引呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分外
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気
強い眼刺激
遺伝性疾患のおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器への刺激のおそれ
眠気又はめまいのおそれ
長期又は反復ばく露による肝臓の障害
長期又は反復ばく露による神経の障害のおそれ

注意書き　【安全対策】
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。−禁煙。
防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。静電気放電や
火花による引火を防止すること。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
【応急措置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に
外せる場合には外して洗うこと。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
衣類にかかった場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。
ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】
容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に
業務委託すること。

４．応急措置

皮膚に付着した場合　：流水でよく洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ皮膚を流水で
よく洗い流す。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の処置を受ける。
目に入った場合　：直ちに流水で１５分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。何らかの異状を
感じたときは直ちに医師の処置を受ける。
飲み込んだ場合　：直ちに水で口の中を洗浄し、コップ１～２杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに
医師の処置を受ける。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。
その他　：使用中、目に異状を感じたり、咳き込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに
使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする。
その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または製品安全データシートを持参する。

３．組成、成分情報

単一製品・混合物の区分　：混合物
成分　：金属架橋型アクリルスチレンコポリマー
アルカリ可溶性樹脂
可塑剤
アルコール類
グリコールエーテル系溶剤
高融点ポリオレフィンワックス
界面活性剤
防腐剤
消泡剤
水

４．応急措置

皮膚に付着した場合　：流水でよく洗い流す。衣服や靴などに付いたときは、すみやかに脱ぎ皮膚を流水でよく洗い流す。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の処置を受ける。

目に入った場合　：直ちに流水で１５分以上洗い流す。コンタクトレンズは外す。何らかの異状を感じたときは直ちに医師の処置を受ける。

飲み込んだ場合　：直ちに水で口の中を洗浄し、コップ１～２杯の水または牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。ただし、牛乳アレルギーの人には牛乳を与えない。

その他　：使用中、目に異状を感じたり、咳き込んだり、気分が悪くなったときは、直ちに使用を止めてその場から離れ、洗眼、うがいをする。
その後、直ちに医師の処置を受ける。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または製品安全データシートを持参する。

５．火災時の措置

消火剤　：水、泡、粉末、二酸化炭素などの一般消火剤が使用できる。

消火方法　：本製品は不燃物であるが、周辺火災の場合は速やかに安全な場所に移す。
移動ができない場合は、風上より容器周辺に散水して冷却する。

消火を行う者の保護　：消火作業では保護具を着用する。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項　：必要に応じて、保護具（保護メガネ、ゴム手袋、ゴム長靴等）を着用する。

環境に対する注意事項　：雨水溝、河川、海上などに排出されないように注意する。

除去方法　：スクイジーなどを用いて、できる限り空容器などに回収する。
漏出量が多い場合には土のうなどで流出を防いだ上でポンプを用いて吸い取る。
また少量の場合はウエス、モップ、吸着マット、砂等でできるだけ素早く
吸い取った後、充分に水洗いすること。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い　：
・荒れ性の方や長時間作業する場合はゴム手袋を着用する。
・液が皮膚や眼、口などに付着しないように注意する。
・バクテリア汚染を避けるため、一度容器から出した場合、液をもとの容器に戻さないこと。
・キャップを開けるときに液が飛び出すことがあるので注意する。また、容器を移動するときにはキャップをしっかり閉める。緩んでいると液が跳ねて目や皮膚に付くことがある。
・取扱いの都度、容器を密閉すること。
・他の薬剤・洗浄剤などとは絶対に混ぜたり併用したりしない。
・誤飲等事故の恐れがあるので、飲料用の容器を含む他の容器に移し替えたり小分けしたりしない。
・用途以外には使用しない。
・使用後は、手を水でよく洗う。
・倒したり、こぼしたりしないように注意する。
・使い終わった容器は、充分に洗ってから処理する。

保管　：
・直射日光、４０℃以上、多湿および凍結のおそれのある場所を避けて密閉して保管する。
・子供の手の届かないところに保管する。

８．暴露防止及び保護措置

設備対策　：蒸気が滞留しないように局所換気装置または全体換気装置を設置する。

管理濃度　：設定されていない。

許容濃度　：設定されていない。

保護具　：

呼吸器用の保護具　；保護マスク

手の保護具　；ゴム手袋

目の保護具　；保護メガネ

皮膚及び身体の保護具　；ゴム長靴、保護衣

９．物理的及び化学的性質

物理的状態

形状、色	：乳白色液体
不揮発分	：１７．７％
ｐＨ	：７．９（原液，２５℃）
比重	：１．０２０（２０℃）
沸点	：＞９０℃以上
粘度	：５．５　mPa･s（原液，２５℃）
におい	：特異臭
融点・凝固点	：＜０℃
溶解度	：水に１００％　分散する。
引火点	：なし
燃焼又は爆発範囲	：データなし
蒸気圧	：データなし
蒸気密度	：データなし
水分配係数	：データなし
自然発火温度	：データなし
分解温度	：データなし
蒸発速度	：データなし

（注）数値はいずれも代表値で表示

１０．安定性及び反応性

安定性	：通常の取扱い条件（屋内、常温）においては安定である。
反応性	：通常の取扱い条件においては危険な反応を起こす恐れはない。
避けるべき条件	：直射日光、４０℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態
避けるべき材料	：特になし
危険有害な分解生成物	：特になし

１１．有害性情報

本製品の有害性情報

急性毒性　：経口　LD_{50}　＞５，０００ｍｇ／ｋｇ（アルビノラット）（使用原料からの計算値）
経皮　LD_{50}　データなし
吸入　LC_{50}（１時間）　データなし
吸入　LC_{50}（４時間）　データなし

局所効果　：吸入した場合
・弱い刺激性がある。
皮膚に触れた場合
・弱い刺激性がある。（皮膚腐食性はない）
目に入った場合
・弱い刺激性がある。
飲み込んだ場合
・有害性は低い。

感作性　：データなし
慢性毒性　：データなし
長期毒性　：データなし

労働安全衛生法通知対象物質の有害性情報

労働安全衛生法　通知対象物　第６１号　エタノール

急性毒性：　：経口　ラット　LD_{50}　６．２－１７．８ｇ／ｋｇ
経口　ラット　LD_{50}　＞５ｇ／ｋｇ
経口　ラット　LD_{50}　１３．７g/kg
経皮　情報なし

吸入（蒸気）　ラット　LC_{50}　２００００ｐｐｍ／１０ｈ
（３１６００ｐｐｍ／４ｈ）
吸入（ミスト）　ラット　LC_{50}　６３０００ｐｐｍ／４ｈ
（１１８ｍｇ／Ｌ）

皮膚腐食性・刺激性　：ＯＥＣＤ　ＴＧ４０４試験　ラビット　not irritating
Ａｍｅｒｉｃａｎ　ｇｕｉｄｅｌｉｎｅｓ　ラビット　not irritating

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性　：ＯＥＣＤ　ＴＧ４０４試験　ラビット　moderate
ドレイズ法　ラビット　moderately
ヒトで角膜上皮の傷害、結膜充血は１、２日間で回復する。
強い眼刺激（区分２Ａ－２Ｂ）

呼吸器感作性又は皮膚感作性　：呼吸器感作性：情報なし
皮膚感作性：動物試験で有意の皮膚感作性は見られない。

生殖細胞変異原性　：ラット及びマウスにおける優勢致死の報告及びマウス生殖細胞における異数性誘発の報告がある。
遺伝性疾患のおそれ（区分１Ｂ）

発がん性　：ＩＡＲＣでは「アルコール性飲料としてヒトに発がん性がある」としてグループ１に分類しているが、これはアルコール性飲料を習慣的に摂取するヒトの多数の疫学調査に基づき、アルコール性飲料と食道系及び肝臓のがんの因果関係を認めたものである。他方、ＡＣＧＩＨは、主として作業環境での有害性因子としてエタノールをＡ４（ヒト発がん性に分類できない物質）に分類している 。

生殖毒性　：アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている。
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ（区分１Ａ）

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）　：ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に急性中毒作用を及ぼし、死に至ることがある。
ヒトで５０００ｐｐｍ（９．４ｍｇ／Ｌ）の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす。
呼吸器への刺激のおそれ（区分３）
眠気又はめまいのおそれ（区分３）

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）　：「ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的臓器は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と線維化を経て肝硬変に至る」の記載に基づき区分１（肝臓）とした。また、「アルコール中毒患者の禁断症状（振戦症状、てんかん、精神錯乱）の記載に基づき区分２（神経）とした。
長期又は反復ばく露による肝臓の障害（区分１）
長期又は反復ばく露による神経の障害のおそれ（区分２）

吸引性呼吸器有害性　：データなし

１２．環境影響情報

移動性　：データなし
残留性、分解性　：データなし
生体蓄積性　：データなし
生態毒性　：データなし
その他の情報　：ＢＯＤ（原液）；４４，１００mg/L
ＣＯＤ（原液）；３７，２００mg/L

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物　：下水道以外の河川等、公共水域への排出は絶対に避ける。
・少量の場合は、水で充分に希釈して排出する。
・多量の場合は、都道府県知事の許可を得た専門の廃棄物処理業者にて委託処理をする

汚染容器、包装　：使い終わった容器は、水で充分に洗ってから処理する。

１４．輸送上の注意

国内法規制　：特になし

輸送の特定の安全対策及び条件

- 輸送前に容器の破損、腐食、漏れなどがないことを確認する。
- 荷役作業は丁寧に行い、容器を破損しないように取り扱う。
- 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
- 直射日光、４０℃以上、多湿、凍結条件下、開放状態での輸送は避ける。
- 水濡れを避ける。

１５．適用法令

毒物及び劇物取締法　：該当しない

化学物質管理促進法（ＰＲＴＲ法）　：該当しない

労働安全衛生法／　通知対象物　：該当する／第６１号　エタノール　０．１～５％

表示物質　：該当しない

有機則　：該当しない

特化則　：該当しない

消防法　：該当しない

危険物船舶輸送及び貯蔵規則　：該当しない

１６．その他の情報

問い合わせ先　：ディバーシー株式会社
カスタマーテクニカルセンター
電話番号：０４５－６４０－２２２２／ＦＡＸ番号：０４５－６４０－２２１６

改訂の記録　：作成 ； ２００８年１２月０１日
改訂 ； ２００９年０５月１１日
改訂 ； ２００９年０９月１５日
改訂 ； ２０１０年０４月０１日（社名変更）
改訂 ； ２０１１年０１月０１日（ＪＩＳ　Ｚ　７２５０：２００５書式へ変更）

引用文献　：

- 製品安全データシートの作成指針(改訂版)
  [(社)日本化学工業協会(平成１３年１０月)]
- ＪＩＳ Ｚ ７２５０：２００５／化学物質等安全データシート（ＭＳＤＳ）
- １３９０１の化学商品[化学工業日報社]
- 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善促進の進め方
  [(財)日本規格協会]
- エタノール　ＭＳＤＳ　[安全衛生情報センター]

※記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データなどに基づいて作成しており、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。全ての化学品には未知の危険・有害性があり得るため、ご使用の際には用途・用法に適した安全対策を実施の上、使用者の責任において適正に取り扱ってください。

以上